

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第2回弘前城跡整備指導委員会
開 催 年 月 日	平成30年 2月19日 (月)
開 始 ・ 終 了 時 刻	13時00分 から 14時30分まで
開 催 場 所	弘前市緑の相談所集会室
議 長 等 の 氏 名	長谷川成一 (弘前大学名誉教授)
出 席 者	福井敏隆、麓和善、三上千春
欠 席 者	関根達人、千田嘉博、田中哲雄
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	(弘前市都市環境部公園緑地課) 公園緑地課長 (理事兼務)・古川勝、同課弘前城整備活用推進室長・神雅昭、同室総括主査・笹森康司、同室主事・今野沙貴子 (記録)、同室主事・福井翔子、同室主事・蔦川貴祥、同室主事・福井流星、同室技師・佐藤光麿 (弘前市教育委員会文化財課) 文化財課長・成田正彦、同課主幹兼文化財保護係長・小石川透、同課主幹兼埋蔵文化財係長・岩井浩介
会 議 の 議 題	(1) 平成29年度整備完了済箇所報告 (2) 二の丸整備について ①遺構整備について ②施設内展示映像等の作業状況について (3) その他 ①「弘前城情報館」及び二の丸南部遺構整備スケジュールについて
会 議 結 果	(1) 平成29年度整備完了済箇所報告 ・平成29年度の整備完了箇所は、本丸南馬出し石段・三の丸ピクニック広場トイレの計2ヶ所である。 (2) 二の丸整備について ①遺構整備について ・前回の委員会時に御宝蔵の芯柱跡と考えていた土坑は、追加調査の結果、御宝蔵に先行する土坑と判明した。 ・御宝蔵跡の整備については、口の字状黄褐色土硬化面と雨落ち溝の範囲を平面表示する予定である。 ②施設内展示映像等の作業状況について ・現時点の仕上がりには、まだ色々と問題がある。展示内容については、最終的に委員長がチェックをすることによって制作を進めていく。

	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮称「二の丸利活用施設」の正式名称は、「弘前城情報館」と決まった。3月26日竣功、4月20日オープニングセレモニー開催予定である。 ・遺構整備は、平成30・31年度の2ヵ年で実施する。
<p>会議資料の名称</p>	<p>① 整備完了済箇所報告・「弘前城情報館」及び二の丸南部遺構整備スケジュールについて</p> <p>② 平成29年度第2回整備指導委員会 二の丸遺構整備について（発掘調査資料）</p> <p>③ 二の丸整備について一施設内展示映像等の作業状況について</p>
<p>会議内容</p> <p>（発言者、発言内容、審議経過、結論等）</p>	<p>(1) 平成29年度整備完了済箇所報告 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の整備完了箇所は、本丸南馬出し石段・三の丸ピクニック広場トイレの計2ヶ所である。 <p>(委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本丸南馬出し石段整備については、次回の委員会で現地確認の時間を設けること。 <p>(2) 二の丸整備について</p> <p>①遺構整備について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の委員会時に御宝蔵の芯柱跡と考えていた土坑について、中央を断ち割る追加調査を実施した。結果として、土坑底面に礎石は確認されなかったため、本土坑は芯柱跡ではなく、御宝蔵に先行する土坑であると判断した。 ・土坑は御宝蔵より古い遺構であるが、その性格は不明である。 ・御宝蔵跡の整備については、ロの字状黄褐色土硬化面と雨落ち溝の範囲を平面表示する予定である。 <p>②施設内展示映像等の作業状況について</p> <p>A.ガラス面投影映像 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮称「二の丸利活用施設」の西側・東側のガラス面に投影する映像のサンプルをお見せする。施設西側（下乗橋側）のガラス面に大名行列、東側（中濠側）のガラス面に馬事訓練の様子が投影される。 ・映像はずっと投影されるわけではなく、間に休止時間がある。また、桜の風景も間に差し込む予定。大名行列あるいは馬事

	<p>訓練⇒桜⇒休止、といったサイクルで繰り返すイメージ。</p> <p>B.ガイダンス室映像 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示映像の一部を上映する。 <p>(委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点の仕上がりには、内容的に色々と問題がある。特に事実関係の誤りは、早めに訂正すること。 ・弘前城の変遷を語る上で、17世紀末から18世紀初頭の武家屋敷郭外移転は欠かせない出来事。この出来事を経て、城郭の性質が要塞から政務機関へと大きく変わる。また、武家屋敷郭外移転は城下町の様相も大きく変化させる。 ・展示内容については、最終的に委員長がチェックをするということで制作を進めていく。 <p>(3) その他 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮称「二の丸利活用施設」の正式名称は、「弘前城情報館」と決まった。3月26日竣功、4月20日オープニングセレモニー開催予定である。 ・「弘前城情報館」の開館時間は通常9時～17時とするが、さくらまつり期間は21時まで延長する。平成30年度は、現在弘前公園の指定管理者となっている（一財）弘前市みどりの協会が施設の管理・運営を行い、平成31年度より新たに指定管理者制度を導入する。 ・施設内の展示については、操作方法をサインで示すとともに、スタッフを常時配置して来館者をサポートする。 ・遺構整備は、平成30・31年度の2ヵ年で実施する。平成30年度は御高覧所より南側の整備を進め、平成31年度には北側の整備に入る。ポンプ施設の上屋撤去や、東内門裏手にあるトイレの解体は、平成31年度に実施予定。 <p>(委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の時代、展示を「自分で見て下さい」と来館者に放り投げるようなやり方は通用しなくなってきている。来館者をきちんとサポートしてほしい。
<p>その他必要事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開、非公開…公開 ・オブザーバー出席等 (青森県教育庁文化財保護課) <p>主幹・福島隆雄</p>

(有限会社アトリエタアク 1級建築士事務所)

前田卓

(tecoLLC.)

立木祥一郎

(株式会社乃村工藝社)

近藤正昭

(株式会社キタコン)

工藤秀一